

【学会発表】

形式	演題	発表者	共同発表者	学会名	開催年	開催月	開催地
口演	ホルモン補充療法は更年期手指関節症における手の痛みと上肢機能障害を改善する-後ろ向き症例対象研究-	松川仁登美	唐木田智子、崎濱ミカ、新原有一朗、内田那津子、佐々木裕美、小林裕明	第76回日本産科婦人科学会学術講演会	2024	4	横浜
Poster	A COMPARATIVE STUDY OF SUTURE SCAFFOLD TECHNIQUE VERSUS BREAST GLANDULAR FLAP TECHNIQUE IN BREAST CONSERVING SURGERY:IMPLICATIONS FOR TISSUE REMODELING AND SCAR FLEXIBILITY	Reiko Mitsueda	Yukari Mochitomi,Rie Takaki,Yoshitaka Fujiki,Naomi Gondo,Junko Kawano,Daisuke Yotsumoto,Megumi Teraoka,Shuichi Kanemitsu,Yoshiaki Rai,Masahiro Kashiwaba,Yasuyo Ohi,Reiki Nishimura,Yoshiaki Sagara,Shinji Ohno,Yasuaki Sagara	Global Breast Cancer Conference 2024	2024	4	Seoul, Korea
Speaker	Capturing Emotions: Navigating Breast Cancer Journey with Antihormonal Therapy	Shinji Ohno		Global Breast Cancer Conference 2024	2024	4	Seoul, Korea
Poster	Real-World Treatment Patterns and Outcomes in Elderly Patients with Metastatic Breast Cancer -Multi-institutional Retrospective Cohort Study in Japan-	Reiko Mitsueda	N. Niikura, S. Ohno, T. Taira, M. Takada, M. Hosoda, M. Miyashita, H. Ishiguro, N. Masuda, S. Saji, Y. Sagara	ESMO BREAST CANCER 2024	2024	5	Berlin, Germany
ポスター	保険診療でリスク低減手術を開始して見えてきた実際	川野純子	深江亜衣、西光代、金子景香、満枝怜子、藤木義敬、榎藤なおみ、四元大輔、寺岡恵、金光秀一、雷哲明、城田京子、野元清子、大井恭代、熊谷雄一、佐々木道郎、相良吉昭、相良安昭、大野真司	第4回日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構(JOHBOC)学術総会	2024	5	東京
口演	保険診療でのリスク低減手術を実施した乳癌既発症者の遺伝学的検査時期と術式選択の傾向	川野純子	深江亜衣、西光代、金子景香、満枝怜子、城田京子、野元清子、藤木義敬、榎藤なおみ、四元大輔、寺岡恵、金光秀一、雷哲明、大井恭代、熊谷雄一、佐々木道郎、味八木寿子、相良安昭、大野真司	第30回日本遺伝性腫瘍学会学術集会	2024	5	仙台
口演	【パネルディスカッション】HBOCに対する乳癌サーベイランスにおける超音波検査の位置付け	戸崎光宏		日本超音波医学会第97回学術集会	2024	5	横浜
講演	【委員会企画 将来検討委員会(ラジオ波焼灼療法検討ワーキング)】 保険収載されたラジオ波焼灼療法 ・実施上の注意点(放射線診断医から)	戸崎光宏		第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台

研究業績

診療部

講演	【委員会企画 地域医療連携・診療向上委員会】 ・診療向上委員会報告	相良安昭		第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
ディベーター	【ディベートセッション】 乳がん乳房部分切除術時に乳腺断端の迅速診断は必要か ・外科医「必要」の立場から	藤木義敬		第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
厳選口演	Suture Scaffold法による温存乳房術後の組織変化と柔軟性に関する前向き観察研究	満枝怜子	持富ゆかり、高木理恵、藤木義敬、榎藤なおみ、川野純子、四元大輔、寺岡恵、金光秀一、雷哲明、柏葉匡寛、大井恭代、西村令喜、相良吉昭、大野真司、相良安昭	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
厳選ポスター	Oncotype Dx再発スコア予測におけるPET/MRIを用いた乳房SUV max値の有用性の検討	佐々木道郎	四元大輔、熊谷雄一、戸崎光宏、大井恭代、相良安昭、大野真司	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
ポスターディスカッション	Trastuzumab Deruxtecan減量投与の治療効果と肺臓炎に与える影響	太良哲彦	味八木寿子、満枝怜子、藤木義敬、榎藤なおみ、川野純子、四元大輔、寺岡恵、金光秀一、大井恭代、雷哲明、西村令喜、相良安昭、大野真司、相良吉昭	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
ポスターディスカッション	高齢者の乳がん患者におけるOncotypeDXの有用性と課題	榎藤なおみ	満枝怜子、藤木義敬、川野純子、寺岡恵、四元大輔、金光秀一、味八木寿子、太良哲彦、大井恭代、雷哲明、西村令喜、相良安昭、相良吉昭、大野真司	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
ポスターディスカッション	再発高リスクトリプルネガティブ乳癌に対する術前ペムブロリズマブ併用療法の経験と課題	味八木寿子	太良哲彦、満枝怜子、藤木義敬、榎藤なおみ、川野純子、寺岡恵、四元大輔、金光秀一、雷哲明、西村令喜、相良安昭、相良吉昭、大野真司	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
e-Poster	Structural Analysis of MRI images of BRCA mutated Breast cancer	吉沢あゆは	垂野香苗、村上和香奈、戸崎光宏、Rūta Briedienė, Indrė Lekienė, Dominyka Breimelytė, Jurgita Užinskienė、中村清吾	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
e-Poster	エストロゲン受容体低あるいは無発現の浸潤性小葉癌8例の臨床病理学的検討	山崎芳満	有馬信之、西村令喜、渡邊すぎ子、谷川富夫、稲吉厚、村本一浩	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
e-Poster	オラパリブ投与乳癌症例から、乳癌に対するゲノム医療の利活用を検討する	渡邊すぎ子	稲吉厚、西村令喜、谷川富夫、有馬信之、村本一浩	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
e-Poster	乳がん患者および看護師を対象としたベグフィルグラスチム自動投与デバイスの使用感や満足度アンケート調査	高江洲睦代	森山幸代、太良哲彦、桜井なおみ、玉城研太郎	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台

研究業績

診療部

e-Poster	Trastuzumab Deruxtecan投与患者におけるアプリケーションを用いた症状モニタリングの実行可能性	木川雄一郎	上村夕香理、 <u>太良哲彦</u> 、細田充主、濱中洋平、田辺裕子、吉田達也、田根香織、高畠大典、石川孝、岩本高行、山口雄、向井博文、平成人、三階貴史	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
ポスターディスカッション	患者検体を用いたシングルセル解析でみえたエストロゲン受容体低発現乳癌の生物学的特徴	尾辻和尊	高橋洋子、佐伯澄人、家里明日美、野田哲生、 <u>大野真司</u> 、上野貴之、丸山玲緒	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
ポスターディスカッション	乳癌治療における遺伝子検査の経済的負担の意識に関する研究	田辺裕子	本多和典、渡辺祥吾、田中希世、佐伯澄人、北野敦子、小谷はるる、深田一平、桜井なおみ、梶本裕介、五十嵐中、岩谷胤生、多田寛、原文堅、久芳さやか、山内智香子、相良安昭、川端英孝、岩田宏治、 <u>大野真司</u>	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
厳選口選	臨床研究における紙とアプリでの患者報告アウトカム(PRO)の検証:CIPN多施設共同観察研究(KBCRNA004)から	川口展子	露木茂、木川雄一郎、 <u>太良哲彦</u> 、 <u>相良安昭</u> 、諏訪裕文、山城大泰、石黒洋、杉江知治、片岡裕貴、工藤紀子、荒牧英治、森田智視、池田隆文、戸井雅和	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
口演	【シンポジウム】乳がん診療におけるFGFR阻害剤の可能性	増田紘子	三浦咲子、渡邊知映、寺田かおり、古川孝広、新倉直樹、向原徹、多田寛、八十島宏行、服部正也、三階貴史、上本康明、 <u>相良安昭</u> 、田辺裕子、枝園忠彦、齊藤美美、Naoto Ueno T.、増田慎三	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
口演	【シンポジウム】がん遺伝子パネル検査の前向き観察研究(REIWA study)の中間解析結果と乳癌ゲノム医療の問題点	多田寛	増田紘子、安立弥生、岩谷胤生、上本康明、大谷陽子、梶原友紀子、北川大、古川孝広、 <u>相良安昭</u> 、枝園忠彦、田辺裕子、谷岡真樹、原文堅、八十島宏行、服部正也、吉村健一、岩田広治、増田慎三	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
口演	【シンポジウム】乳がんにおける腫瘍内不均一性の意義とその形成メカニズムの解明を目指して	丸山玲緒	佐伯澄人、尾辻和尊、高橋洋子、桑川昂平、山下奈真、前田哲代、家里明日美、土屋あい、崎山香奈、大迫智、野田哲生、高野利実、 <u>大野真司</u> 、上野貴之	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
口演	【シンポジウム】日本における乳癌患者の経済毒性に影響を与える要因:患者と医師の視点からの比較	佐伯澄人	岩谷胤生、北野敦子、桜井なおみ、田辺裕子、山内智香子、五十嵐中、梶本裕介、久芳さやか、原文堅、 <u>相良安昭</u> 、 <u>大野真司</u>	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台
口演	【日本乳癌学会・日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構(JOHBOC)合同シンポジウム】遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)の管理医療策定に向けて	垂野香苗	有賀智之、石田孝宣、 <u>大野真司</u> 、中村清吾	第32回日本乳癌学会学術総会	2024	7	仙台

研究業績

診療部

Poster	Sentinel lymph node biopsy in clinical T3-4c breast cancer: A retrospective multicenter cohort study	Yasuaki Sagara	S. Kuba, S. Maeda, H. Yano, T. Sakai, Y. Kojima, M. Hattori, S. Asaga, E. Tokunaga, T. Shien, H. Bando, K. Anan, N. Iwakuma, M. Yamaguchi, M. Harao, M. Oikawa, T. Sangai, M. Ishitobi, T. Nakayama, N. Hayashi	ESMO Congress 2024	2024	9	Barcelona, Spain
口演	男性乳癌と前立腺癌の重複癌を認めた3症例の臨床病理学的検討	古川恵瑞	満枝怜子、有村亜希子、藤木義敬、権藤なおみ、川野純子、寺岡恵、金光秀一、味八木寿子、太良哲彦、雷哲明、大井恭代、相良安昭、大野真司	第22回日本乳癌学会九州地方会	2024	9	福岡
口演	De novo stageIV HER2陽性乳癌の長期寛解症例の検討	木村優希	藤木義敬、古川恵瑞、満枝怜子、味八木寿子、権藤なおみ、川野純子、寺岡恵、太良哲彦、金光秀一、大井恭代、雷哲明、木村光誠、相良安昭、岩本充彦、大野真司	第22回日本乳癌学会九州地方会	2024	9	福岡
口演	Batwing Mastopexyと人工物による両側同時再建を行ったHBOC症例	野元清子	川野純子、満枝怜子、寺岡恵、坂井勇仁、相良安昭、大野真司	第12回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会	2024	10	金沢
講演	Improved systemic therapy for breast cancer	大野真司		SHANDONG UNIVERSITY INTERNATIONAL BREAST CANCER SYMPOSIUM	2024	10	中国山西省
Oral	Anatomy of The Superficial Collecting Lymph Vessels: Lymphosome Revised	Hayahito Sakai	Toko Miyazaki, Maya Kanasaki, Reiko Tsukuura, Takumi Yamamoto	v-WIndonesia 2024	2024	10	Bali Island, Indonesia
口演	S-1により急激に血糖コントロールが悪化した2型糖尿病の1例	大重たまみ	太良哲彦、金光秀一、相良安昭、大野真司	第62回日本糖尿病学会九州地方会	2024	10	福岡
口演	当科で経験した下垂体腫瘍手術前後の月経異常および妊娠に関する経過の後方視的検討	松川仁登美	唐木田智子、崎濱ミカ、新原有一朗、内田那津子、沖利通、小林裕明	第39回日本女性医学学会学術集会	2024	11	宇都宮
Oral	Reverse Hypothenar Flap Transfer Combined with Domino Ulnar Palm Flap for a Fingertip Reconstruction	Hayahito Sakai		PRS KOREA 2024	2024	11	Seoul, Korea
パネリスト	【ビデオパネルディスカッション】乳癌オンコプラスチックサージャリーの工夫	相良安昭		第86回日本臨床外科学会学術集会	2024	11	宇都宮
口演	【ワークショップ】博愛会・宮崎博愛会における放射線治療診療体制の構築	東龍太郎		日本放射線腫瘍学会第37回学術大会	2024	11	横浜

研究業績

診療部

講演	【ワークショップ】 乳癌検診におけるハイボリュームセンターの役割を考える	金光秀一		第34回日本乳癌検診学会学術総会	2024	11	群馬
Poster	A novel formula to improve the accuracy and prognostic ability of determining the survival time after recurrent breast cancer	Reiki Nishimura	Yasuaki Sagara, Reiko Mitsueda, Tetsuhiko Taira, Toshiko Miyaki, Shuichi Kanemitsu, Megumi Teraoka, Junko Kawano, Naomi Gondo, Yoshitaka Fujiki, Ryutaro Higashi, Akiko Semba, Yasuyo Ohi, Yoshiaki Rai, Yoshiaki Sagara, Shinji Ohno	2024 San Antonio Breast Cancer Symposium	2024	12	San Antonio, TeXas
講演	リアルワールドデータ活用のおすすめ RWDで変わる実臨床 – JBCRG ABCD projectのススメ–	相良安昭		第15回JBCRG 学術集会	2025	2	WEB
パネリスト	【シンポジウム】 高齢者早期乳癌における最適な治療は何か？手術、放射線、薬物療法	相良安昭		第22回日本臨床腫瘍学会学術集会	2025	3	神戸
口演	感染を合併した手背の広範なデグロビング損傷をpure skin perforator flapにより再建した1例	坂井勇仁	町田透、三重岳、柳瀬桜子、野元清子	第125回九州・沖縄形成外科学会学術集会	2025	3	福岡
Speaker	Suture Scaffold Technique in Breast Conserving Surgery: Implications for Tissue Remodeling and Scar Flexibility	Shinji Ohno		2025 Kaohsiung International Cancer Symposium	2025	3	Taiwan

【研究会・講演会】

形式	演題	発表者	共同発表者	学会・研究会・講演会名	開催年	開催月	開催地
ディスカッサント	Caseディスカッション テーマ①	藤木義敬		Advanced Breast Cancer West Japan Meeting	2024	4	福岡
特別講演	最新の乳房温存術における再建方法 -Suture Scaffold法について-	満枝怜子		Lilly Breast Cancer Seminar in Sasebo	2024	4	長崎
講演	乳がん医療の未来	大野真司		第47回乳癌懇話会	2024	4	名古屋
講演	ターゼナを紐解く	太良哲彦		Pfizer Oncology Symposium Breast Cancer TOUCH 2024 in Kyushu	2024	4	福岡
パネリスト	【ディスカッション】 乳がんチーム医療のグレイドアップのために ～現在のチームを分析し、いかに「患者さんのためにもっと良くなる」チームを作るか、その着眼点と作戦の立て方～	大野真司		大分県乳がんセミナー2024	2024	5	大分
特別講演	トルカブによる転移性乳癌治療の新局面と治癒困難な乳癌患者とのShared Decision Making	相良安昭		十勝釧路 Breast Cancer Seminar	2024	5	北海道
講演	当院におけるページニオのEBCについて	藤木義敬		Lilly Breast Cancer 離島連携 WEB Seminar	2024	6	鹿児島
特別講演	HER2低発現乳がん治療の新展開	太良哲彦		Breast Cancer Web Seminar in 松戸	2024	6	WEB
講演	子宮内膜症に対する薬物療法～患者ニーズに応えるマネジメント～	城田京子		西部地区産婦人科医会学術講演会	2024	6	広島
講演	【ランチョンセミナー】 BRCA 遺伝子変異陽性乳癌の新たな治療選択	太良哲彦		日本がん登録協議会 第33回学術集会 in 島根	2024	6	島根
特別講演	乳がんの診断から治療方針決定までの基本	太良哲彦		若手薬剤師のためのがん薬物療法セミナー ～乳がん編 Part.1～	2024	6	鹿児島

研究業績

診療部

パネリスト	【イブニングセミナー】 パネルディスカッション: Patient journeyの中で変化して いく再発・転移乳がん患者が抱 える課題にどう気づき取り組む べきか	大野真司		第32回日本乳癌学会学術総 会	2024	7	仙台
講演	【イブニングセミナー】 治療医の立場から考える高齢 者乳癌患者に対するACP	相良安昭		第32回日本乳癌学会学術総 会	2024	7	仙台
講演	【看護セミナー】 知っておきたい遺伝性乳癌卵 巣癌(HBOC)診療の基礎知識	川野純子		第32回日本乳癌学会学術総 会	2024	7	仙台
講演	産婦人科医が願う女性の健康	城田京子		令和6年度鹿児島県在宅保 健師・看護師研修会	2024	7	鹿児島
講演	月経困難症と向き合う: 固定概念を超えた患者とのコ ミュニケーション	城田京子		プロゲスチンセミナー in SASEBO	2024	7	長崎
講演	がん研における101か月を振り 返る	大野真司		With you Kyushu特別企画 Dr.TANAKA & Dr.OHNO Web Seminar	2024	7	WEB
講演	最近の乳がん医療について	大野真司		令和6年度鹿児島市産婦人 科医会総会・研修会	2024	7	鹿児島
講演	月経困難症治療～患者さんと すれ違わないために考えること ～	城田京子		Women's Health Net Forum	2024	7	WEB
特別講 演	転移性乳癌に対する最近のエ ビデンス -エンハーツの研究結 果から実臨床まで-	相良安昭		Breast Cancer Web Seminar ～乳がん診療をトータルで考 える会～	2024	7	WEB
講演	【ランチョンセミナー】 早期乳癌における多遺伝子 アッセイの実際と展望 ～病理医の視点から～	大井恭代		第32回乳癌基礎研究会	2024	7	千葉
講演	SDMの求められてきた背景と実 践における現状	大野真司		COCO Oncology座談会企画 Shared Decision Makingの意 義と実践	2024	7	WEB
口演	BREAST-Qを用いた乳房温存 術後の主観的乳房満足度評価 -Suture Scaffold法による整容 性の検討	満枝怜子		第6回かごしまデータ科学シ ンポジウム In KAGOSHIMA	2024	8	鹿児島

研究業績

診療部

講演	乳癌治療の最前線～手術から薬物療法まで～	満枝怜子		Lilly Breast Cancer Web Conference	2024	8	福岡
講演	乳がん診療の現場から、あなたに知ってほしいこと	川野純子		Japan Cancer Forum 2024 遺伝性腫瘍	2024	8	WEB
講演	希少サブタイプ・乳腺	大井恭代		2024年度第2回希少がん病理診断講習会	2024	8	東京
講演	月経困難症と向き合う：固定概念を超えた患者とのコミュニケーション	城田京子		Women's Health Net Forum in Kitakyusyu	2024	8	WEB
特別講演	特定領域拠点病院(乳がん)でのがん遺伝子パネル検査	金光秀一		Precision medicineの均てん化を考える会	2024	9	WEB
講演	乳癌診療における最近の進歩	藤木義敬		Lilly BC/CRC WEB Seminar ～エキスパートに聞く！乳癌/大腸癌治療～	2024	9	鹿児島
特別講演	乳房部分切除術における Suture Scaffold Technique	相良安昭		第7回 Breast surgery Education Web Seminar	2024	9	WEB
講演	がん治療においても知っておきたい認知症の最新治療について	味八木寿子		高齢化社会におけるこれからの乳がん医療を考えるWeb Seminar	2024	9	WEB
講演	患者を支える乳癌治療の連携術 1. 広域医療連携による治療アクセスの向上 2. KEYNOTE-522導入事例とそのインパクト	太良哲彦		Breast Cancer Web Seminar -乳癌の地域連携を考える-	2024	9	鹿児島
講演	月経困難症と向き合う：固定概念を超えた患者とのコミュニケーション	城田京子		山梨県婦人科フォーラム	2024	9	WEB
講演	看護に必要ながんゲノム医療の知識	味八木寿子		令和6年度鹿児島がん看護研究会研修「がん看護に必要な基礎知識AtoZ」	2024	9	鹿児島
パネリスト	教育セミナー	満枝怜子		第22回日本乳癌学会九州地方会	2024	9	福岡

研究業績

診療部

講演	【アフタヌーンセミナー】 乳腺外科×形成外科で考える 脂肪注入乳房再建	権藤なおみ		第12回日本乳房オンコプラス ティックサージャリー学会総 会	2024	10	金沢
講演	症例登録のTipsとQ&A	太良哲彦 味八木寿子		HALLOW study 九州エリア ミーティング	2024	10	福岡
講演	働き方改革・地域医療への貢 献～令和のOSNA活用法～	大井恭代		OSNA TM 法 Webセミナー	2024	10	WEB
講演	MRIガイド下生検の啓発を通し て見えた現状と将来像～生検 を行う放射線科医からのメッ セージ～	戸崎光宏		第10回乳腺画像・インターベ ンション研究会	2024	10	WEB
講演	乳腺腫瘍病理 up date	大井恭代		第19回熊本細胞診セミナー	2024	10	熊本
講演	Suture Scaffold法 ～当院での 乳房温存術に対する新たな取 り組み～	藤木義敬		Lilly Breast Cancer Seminar	2024	10	福岡
パネリス ト	手術適応と手術後の後療法	城田京子		九州エリア婦人科疾患研究 会	2024	11	WEB
特別講 演	Mission, Vision, Action&Passion ～明日の乳がん医療へ繋ぐ～	大野真司		Breast Cancer Meeting in 高 知	2024	11	高知
講演	乳房温存術における再建方法 ～Suture Scaffold法について～	満枝怜子		Lilly Breast Cancer Seminar 2024	2024	11	福岡
講演	AYA世代の乳癌患者における 妊孕性温存の取り組み ～ POSITIVE試験から導く最適な アプローチ～	相良安昭		Scientific Exchange Meeting ～AYA世代乳癌患者の妊孕 性を考える～	2024	11	WEB
講演	PARP阻害剤の可能性を引き出 す:ターゼナ治療の実践	太良哲彦		ターゼナAEマネジメント イン ターネットシンポジウムTOU CH2024	2024	11	WEB
講演	トルカブによる転移性乳癌治療 の新局面と治癒困難な乳癌患 者とのShared Decision Making	相良安昭		第20回東北Breast Cancer Workshop	2024	11	仙台
パネリス ト	【パネルディスカッション】 T-DXd後の治療シーケンスにつ いて考える	太良哲彦		EN-SEMBLE試験 結果報告 会	2024	11	東京

研究業績

診療部

講演	進行・再発TNBCに対するICIの使用経験	味八木寿子		中外eセミナー on Breast Cancer	2024	11	鹿児島
特別講演	乳腺細胞診のポイント	大井恭代		第11回徳洲会病理部会学術集会	2024	11	千葉
Speaker	【Luncheon Seminar】 The efficacy and safety of pembrolizumab + chemotherapy in patients with early triple negative breast cancer	Shinji Ohno		The 8th World Congress of the ISFP (ISFP 2024) 第8回国際妊孕性温存学会学術集会	2024	11	東京
ディスカッサー	【ディスカッション】 静岡がんセンターの経験が導いた新たなキャリアパス	太良哲彦		肺癌梁山泊 ～始まりの地ふじのくにに集う～	2024	11	静岡
講演	乳癌領域の外科治療のTopics	藤木義敬		Kurume Breast Cancer Seminar	2024	11	福岡
講演	HR陽性(ホルモン療法)、HER2陽性乳がんの治療戦略	太良哲彦		若手薬剤師のためのがん薬物療法セミナー ～乳がん編 Part.2～	2024	11	鹿児島
講演	乳癌治療 手術と薬物治療の最近の話題	満枝怜子		乳癌治療スキルアップセミナー@近江ノ国	2024	12	WEB
講演	薬剤性肺炎の早期発見と対応：ページニオ使用時のリスクマネジメント	太良哲彦		Lilly Breast Cancer Web Seminar ～ILDについて考える～	2024	12	WEB
講演	【共催セミナー】 進行再発乳がんの個別化治療と展望	相良安昭		第28回秋田県乳腺疾患研究会	2024	12	秋田
講演	進化する術前薬物療法と患者を支えるチーム医療	相良安昭		MSD Breast Cancer Web Seminar	2024	12	WEB
講演	トルカプとは？ CAPItello-291を中心に	相良安昭		Breast Cancer National Symposium 2024	2024	12	大阪
特別講演	乳がん治療Update -2024年海外トピックスを中心に-	相良安昭		Halaven® Hot Topic Seminar	2025	1	鹿児島宮崎

研究業績

診療部

講師	地域でつなぐACP ～その人らしく最期まで生ききることを地域で支援するために～	太良哲彦		令和6年度鹿児島県委託事業「医療ケア意思決定プロセス支援事業」 地域でつなぐACP ～専門職(多職種連携)コース～	2025	1	鹿児島
講演	ホルモン受容体陽性転移性乳癌に対する薬物療法と治療困難ながん患者へのアドバンスケアプランニング	相良安昭		乳癌診療セミナー in 宮崎	2025	2	宮崎
講演	個別化医療の時代:月経困難症治療を最適化する効果的なコミュニケーション	城田京子		神奈川県産婦人科 WEB Forum	2025	2	WEB
講演	個別化医療の時代:月経困難症治療薬選択における患者中心のアプローチ	城田京子		Women's Health Net Forum ～女性ホルモン基礎セミナー～	2025	2	福岡
特別講演	ホルモン受容体陽性 転移性乳癌治療の最近の動向 -バイオマーカーに基づく個別化医療の進展-	相良安昭		第152回阪神乳腺疾患談話会	2025	2	大阪
特別講演	乳房温存術における再建方法 -Suture Scaffold法について-	満枝怜子		Lilly Breast Cancer Seminar in Kurashiki	2025	3	岡山
特別講演	乳房温存術における再建方法 -Suture Scaffold法について-	満枝怜子		Breast Cancer Seminar 乳腺診療・働き方を考える会	2025	3	広島
講演	遺伝性乳癌卵巣癌について乳腺診療医の立場から	川野純子		九州山口遺伝看護・遺伝カウンセリング研究会 第7回大会	2025	3	鹿児島
特別講演	ホルモン受容体陽性 転移性乳癌治療の最近の動向 -バイオマーカーに基づく個別化医療の進展-	相良安昭		Breast Cancer Expert Seminar -岐阜県のゲノム診断で拓く乳がん治療最前線-	2025	3	岐阜
講演	HER2低発現診断のポイント	大井恭代		Breast Cancer Web Seminar for Pathologists in 九州沖縄	2025	3	鹿児島
講演	医療安全の基本的なこと	濱田倫史		医療法人秋津会 徳田脳神経外科病院 院内研修会	2025	3	鹿児島
講演	【ワークショップ】 当院における腋窩リンパ節マネージメントの現状と展望	権藤なおみ		第31回日本乳腺疾患研究会	2025	3	東京

研究業績

診療部

講演	口内炎のマネジメント	濱田倫史		DATROWAY Expert Meeting	2025	3	東京
特別講演	HER2低発現乳がん治療の新展開	太良哲彦		Breast Cancer Web Seminar ～ILDマネジメントを考える～	2025	3	WEB
講演	患者さんの未来に向き合う手術療法	満枝怜子		Breast Cancer National Symposium 2025 SPRING	2025	3	東京

【講師・啓発活動】

形式	演題	発表者	共同発表者	研修会名	開催年	開催月	開催地
講演	患者・市民参加型のこれからの乳がん医療	大野真司		第2回情熱上陸会交流会	2024	4	東京
講演	当院のHBOC診療の現状について	川野純子		第1回HBOC当事者会	2024	7	鹿児島
講演	正しく知ろう、乳がんのこと～あなたとあなたの家族を守るために～	大野真司		与論町保健センター講演会	2024	9	鹿児島
講師	乳腺腫瘍学概論 7)乳がんと遺伝に関する諸問題	大野真司		静岡県立静岡がんセンター 認定看護師教育課程	2024	9	静岡
講師	臨床細胞診断学実習Ⅱ	大井恭代		山口大学大学院医学系研究科	2024	9	山口
講師	がんって何？～内分泌医療の立場より～	大重たまみ		鹿児島市立松元小学校 5,6年生「がん教育教室」	2024	9	鹿児島
講演	納得の治療選択のための基礎知識-乳がん治療の今-	味八木寿子		がんの治療と暮らしフェア 2024 in sagara	2024	10	鹿児島
講演	がんと診断されたすべての人に伝えたい- ことること-	大野真司		がんの治療と暮らしフェア 2024 in sagara	2024	10	鹿児島
講演	乳がんセミナー	権藤なおみ		がんの治療と暮らしフェア 2024 in sagara	2024	10	鹿児島
講師	がんってなあに？ 乳がんの治療について	川野純子		鹿児島市立清水小学校 6年生「がん教育」授業	2024	12	鹿児島
講師	生きたい人生を選択するためのからだの話	城田京子		福岡市立福翔高校「性教育」	2024	12	鹿児島
講演	HAPPYに暮らすための第一歩～産婦人科医と守る、あなたの体と心～	城田京子		働く女性の健康セミナー	2025	1	鹿児島

研究業績

診療部

講演	「がん」は遺伝子の病気である	金光秀一		つなGO奄美大島健康寿命延伸 疾患啓発セミナー	2025	2	鹿児島
講師	乳腺外科学	相良安昭		京都大学大学院医学研究科	2025	2	京都
講演	相良病院で行うリンパ浮腫の診療・治療とは	坂井勇仁		市民公開講座 LVA(リンパ管静脈吻合術)について	2025	3	鹿児島

【論文】

論文・執筆名	著者	共同発表者名	論文・書籍名等	出版社名等	発行年	号数等	巻号頁
Potential role of Fbxo22 in resistance to endocrine therapy in breast cancer with invasive lobular carcinoma	Saki Nakagawa	Minoru Miyashita, Ichiro Maeda, Atsushi Goda, Hiroshi Tada, Masakazu Amari, Yasuyuki Kojima, Koichiro Tsugawa, <u>Yasuho Ohi</u> , <u>Yasuaki Sagara</u> , Miku Sato, Akiko Ebata, Narumi Harada-Shoji, Takashi Suzuki, Makoto Nakanishi, Tomohiko Ohta, Takanori Ishida	Breast Cancer Research and Treatment	Springer	2024	204(3)	453-463
未発症BRCA1病的バリエーション保持者のサーベイランス中にMRIガイド下生検にて診断されたトリプルネガティブ乳癌の1例	峯陽子	垂野香苗、戸崎光宏、吉田玲子、犬塚真由子、中村清吾、林直輝	乳癌の臨床	篠原出版新社	2024	39(2)	161-170
Optimizing smartphone psychotherapy for depressive symptoms in patients with cancer: Multiphase optimization strategy using a decentralized multicenter randomized clinical trial (J-SUPPORT 2001 Study)	Tatsuo Akechi	Toshiaki A Furukawa, Hisashi Noma, Hiroji Iwata, Tatsuya Toyama, Kenji Higaki, Hiromichi Matsuoka, Sadamoto Zenda, Tsuguo Iwatani, Kazuhisa Akahane, Akira Inoue, <u>Yasuaki Sagara</u> , Megumi Uchida, Fuminobu Imai, Kanae Momino, Gen Imaizumi, Takuhiro Yamaguchi, Tomoe Mashiko, Tempei Miyaji, Masaru Horikoshi, Naomi Sakurai, Tatsuya Onishi, Yukihide Kanemitsu, Takeshi Murata, Yumi Wanifuchi-Endo, Hiroaki Kuroda, Ryutaro Nishikawa, Minoru Miyashita, Masakazu Abe, Yosuke Uchitomi; J-SUPPORT 2001 Study group	Psychiatry and Clinical Neuroscience	Wiley	2024	78(6)	353-361
Real-world data of HER2-negative early breast cancer patients treated with anthracycline and/or taxane regimens in Japan	Akihiko Shimomura	<u>Yasuaki Sagara</u> , Ryo Koto, Masakazu Fujiwara, Yuka Kanemura, Hiroshi Kitagawa, Shigehira Saji	Breast Cancer	Springer	2024	31(4)	581-592
The Clinicopathological and Prognostic Significance of HER2-Low Breast Cancer: A Comparative Analysis Between HER2-Low and HER2-Zero Subtypes	Reiki Nishimura	Yoshitaka Fujiki, Tetsuhiko Taira, Toshiko Miyaki, Shuichi Kanemitsu, Daisuke Yotsumoto, Megumi Teraoka, Junko Kawano, Naomi Gondo, Reiko Mitsueda, Shinichi Baba, Yasuyo Ohi, Yoshiaki Rai, Yoshiaki Sagara, Yasuaki Sagara	Clinical Breast Cancer	ELSEVIER	2024	24(5)	431-438

研究業績

診療部

Malignant phyllodes tumor with EGFR variant III mutation: A rare case report with immunohistochemical and genomic studies	Ikumi Kitazono	Toshiaki Akahane, Hiromi Sasaki, <u>Yasuyo Ohi</u> , Yoshiaki Shinden, Tomoko Takajo, Takashi Tasaki, Michiyo Higashi, Hirotsugu Noguchi, Masanori Hisaoka, Akihide Tanimoto	Pathology Research and Practice	ELSEVIER	2024	259	2E+05
Investigation of imaging features in contrast-enhanced magnetic resonance imaging of benign and malignant breast lesions	Kazunori Kubota	Tomoyuki Fujioka, Ukihide Tateishi, Mio Mori, Yuka Yashima, Emi Yamaga, Leona Katsuta, Ken Yamaguchi, <u>Mitsuhiro Tozaki, Michiro Sasaki</u> , Takayoshi Uematsu, Shuichi Monzawa, Ichiro Isomoto, Mizuka Suzuki, Hiroko Satake, Hiroshi Nakahara, Mariko Goto, Mari Kikuchi	Japanese Journal of Radiology	Springer	2024	42(7)	720-730
Overall Survival with Pembrolizumab in Early-Stage Triple-Negative Breast Cancer	Peter Schmid	Javier Cortes, Rebecca Dent, Heather McArthur, Lajos Pusztai, Sherko Kümmel, Carsten Denkert, Yeon Hee Park, Rina Hui, Nadia Harbeck, Masato Takahashi, Seock-Ah Im, Michael Untch, Peter A Fasching, Marie-Ange Mouret-Reynier, Theodoros Foukakis, Marta Ferreira, Fatima Cardoso, Xuan Zhou, Vassiliki Karantza, Konstantinos Tryfonidis, Gursel Aktan, Joyce O'Shaughnessy; <u>KEYNOTE-522 Investigators</u>	The New England Journal of Medicine	MASSACHUSETTS MEDICAL SOCIETY	2024	391(21)	1981-1991
Trastuzumab Deruxtecan after Endocrine Therapy in Metastatic Breast Cancer	Aditya Bardia	Xichun Hu, Rebecca Dent, Kan Yonemori, Carlos H Barrios, Joyce A O'Shaughnessy, Hans Wildiers, Jean-Yves Pierga, Qingyuan Zhang, Cristina Saura, Laura Biganzoli, Joohyuk Sohn, Seock-Ah Im, Christelle Lévy, William Jacot, Natasha Begbie, Jun Ke, Gargi Patel, Giuseppe Curigliano; <u>DESTINY-Breast06 Trial Investigators</u>	The New England Journal of Medicine	MASSACHUSETTS MEDICAL SOCIETY	2024	391(22)	2110-2122

Tumorigenesis Caused by Aberrant Expression of GANP, a Central Component in the Mammalian TREX-2 Complex—Lessons from Transcription–Coupled DNA Damages	Andri Rezano	<u>Naomi Gondo</u> , Yasuhiro Sakai, Yuko Nakamura, Suchada Phimsen, Tokio Tani, Akihiko Ito, Seiji Okada, Kazuhiko Kuwahara	International Journal of Molecular Sciences	MDPI	2024	25(24)	13612
Capivasertib and fulvestrant for patients with HR-positive/HER2-negative advanced breast cancer: analysis of the subgroup of patients from Japan in the phase 3 CAPItello-291 trial	Eriko Tokunaga	Hiroji Iwata, Mitsuya Itoh, <u>Tetsuhiko Taira</u> , Tatsuya Toyama, Toshiro Mizuno, Akihiko Osaki, Yasuhiro Yanagita, Seigo Nakamura, Rikiya Nakamura, Tomoko Sambe, Toshiaki Ozaki, Gaia Schiavon, Sacha J Howell, Masakazu Toi	Breast Cancer	Springer	2025	32(1)	132–143
Design Paper: A Prospective, Multicenter, Single-arm, Phase II Trial of Tailored Axillary Surgery in Patients with Clinically Node-positive Breast Cancer in the Upfront Surgery Setting	Yasuaki Sagara	Kaori Terata, Takehiko Sakai, Shin Takayama, Dai Kitagawa, Tsuguo Iwatani, Takahiro Tsukioki, Mami Ogita, Naoko Sanuki, Masayuki Yoshida, Hitoshi Tsuda, Seiichiro Yamamoto, Hiroji Iwata, Tadahiko Shien	JMA Journal	Japan Medical Association	2025	8(1)	264–269
A novel formula to improve the accuracy and prognostic ability of determining the survival time after recurrent breast cancer	Reiki Nishimura	Yasuaki Sagara, Reiko Mitsueda, Tetsuhiko Taira, Toshiko Miyaki, Shuichi Kanemitsu, Megumi Teraoka, Junko Kawano, Naomi Gondo, Yoshitaka Fujiki, Ryutaro Higashi, Akiko Semba, Yasuyo Ohi, Yoshiaki Rai, Yoshiaki Sagara, Shinji Ohno	Breast Cancer	Springer	2025	32(3)	491–499
Breast cancer statistics for Japan in 2022: annual report of the national clinical database–breast cancer registry–clinical implications including chemosensitivity of breast cancer with low estrogen receptor expression	Masayuki Nagahashi	Hiraku Kumamaru, Naoko Kinukawa, Takayuki Iwamoto, Masahiro Kawashima, Takayuki Kinoshita, Takaaki Konishi, <u>Yasuaki Sagara</u> , Shinsuke Sasada, Shigehira Saji, Naoko Sanuki, Kenta Tanakura, Naoki Niikura, Minoru Miyashita, Masayuki Yoshida, Takanori Ishida, Naruto Taira	Breast Cancer	Springer	2025	32(2)	217–226

【執筆】

執筆名	著者	共同発表者名	書籍名等	出版社名等	発行年	号数等	巻号頁
中高年女性の手指関節痛に対する麻杏薏甘湯の有効性に関する検討	城田京子	永田理恵、宮田敬三、松川仁登美、時任ゆり	産婦人科漢方研究のあゆみ	診断と治療社	2024	40	47-50
〈将来への提言〉 本当の意味で患者さんに優しい医療とはなにか？ 研究とはなにか？	大野真司		週刊 医学のあゆみ -乳癌のすべて2024-	医歯薬出版	2024	290(5)	476
IV 乳腺病理診断 8. 術中迅速病理診断のPit & fall	大井恭代		日本臨床増刊号 乳癌学2024 (上)-最新の診断・治療動向-	日本臨床社	2024	82(6)	192-196
乳腺細胞診のピットフォール	大井恭代		病理と臨床	文光堂	2024	42(10)	1003-1008
第2部 各論 1 乳腺腫瘍 2. 断端チェックをしている施設 Topics OSNATM法	大井恭代		術中迅速病理診断スタンダード	文光堂	2024	-	138-139